

高齢者向け啓発資材の作成について

令和 4 年 2 月 薬務課監視係

高齢者向け啓発資材の作成について

○事業概要

県政モニターアンケートの結果からも、ジェネリック医薬品の認知度が成熟していることが見て取れ、この段階において更なるジェネリック医薬品使用促進を実施するには、一人当たり医療費が高くジェネリック医薬品使用割合の低い高齢者に対して、啓発を実施する必要があった。

このため、平成28年度に作成した啓発資材を見直し、啓発効果のより高いリーフレットを制作した。

○作成方法

公募型プロポーザル方式（※）で実施

（※）デザイン等の企画・提案を競争させ、審査の上で目的に最も適した案を提示した業者と契約する方法

審査は、福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会委員及び福岡県保健医療介護部薬務課職員にて実施した。

啓発資材紙面の決定及び配布予定先について

啓発資材紙面の決定について

- 公募により採用された啓発資材は、次頁以降に掲載のとおり。
- 配布する啓発資材について、このとおり決定してよろしいか協議したい。
(文言等に修正すべき点がある場合は、御指摘いただきたい。)

配布予定先について

○パンフレット

- (1) 後期高齢者医療保険の被保険者
後期高齢者医療広域連合が送付する差額通知と共に、
月あたり5000部を目途に配布
- (2) 市町村役所窓口
市町村国民健康保険担当課より、窓口等にて配布
- (3) 福岡県医師会会員医療機関（病院・診療所）
- (4) 福岡県薬剤師会会員薬局
薬局にて、処方箋受付時等に配布

○ポスター

- (1) 福岡県医師会会員医療機関（病院・診療所）
待合室等に掲示
- (2) 福岡県薬剤師会会員薬局
薬局に掲示
- (3) 行政機関
福岡県庁薬務課等にて掲示

ポスター（案）

未来のための やさしい節約

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品を選ぶことは社会貢献でもある、
とごうことを存じてちょうか。
服用しているお薬をジェネリック医薬品に替えることで、
窓口を支払う「自己負担」を減らせるだけでなく、「
税金」「保険料」「お薬手帳」までかわられているこの国の
医療費を節約するチャンスでもあります。

急速な高齢化に伴い、増え続ける日本の医療費。
このままでは、現代の優れた医療保険制度を次の世
代に継承していくことが困難な状況です。
子どもたちが安心して暮らせる未来を残すこと、そ
れは、私たちに課せられた責任でもあります。

ジェネリック医薬品という選択は、子どもたちの未
来を想う「やさしい節約」なのです。





年齢層	ジェネリック医薬品使用割合 (%)	内服薬の処方費1枚当たりの薬剤料の平均 (円)
0~75歳未満	約82%	約6,500円
75~80歳未満	約78%	約7,000円
80~85歳未満	約75%	約7,500円
85~90歳未満	約78%	約7,000円

約8割の方がジェネリック医薬品をご利用されていますが、高齢になると処方箋1枚当たりの薬剤料が高くなる一方、ジェネリック医薬品の使用割合が低い傾向にあります。
ジェネリック医薬品に替えることで、一人あたりの調剤医療費を節約することができます。

※厚生労働省「薬匠の調剤医療費（処方料別区分）」（薬向 令和2年3月号）のデータより作成

ジェネリック医薬品とは 先に開発されたお薬（先発医薬品）と同じ有効成分を同じ量使用したお薬で、先発医薬品よりお薬代が安くなっています。厚生労働省が有効性や安全性を認めたお薬であり、安心して使うことができます。厚生労働省も使用を推奨しています。

◎まずは、医師・薬剤師にご相談ください。

❁ 福岡県／公益社団法人 福岡県薬剤師会

※ 文言やグラフについて、審査時点から事務局より一部修正済み。

3つ折りリーフレット外側（案）

お問い合わせ

お薬の使用方法や取り扱い方などに関してご質問がある場合は、こちらにお電話ください。

公益社団法人福岡県薬剤師会 薬事情報センター
《くすりなんでもテレホン》

☎092-271-1585

《政府広報オンライン》

政府広報オンライン ジェネリック

検索

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201309/4.html>

ジェネリック医薬品について
わかりやすく説明しています。



（ジェネリック医薬品希望カードの使い方）

①おもて面に氏名をご記入ください。



②キリトリ線に沿って切り取ってください。



③半分に折り、こちらの面をのり等で貼り合わせてください。

×キリトリ線

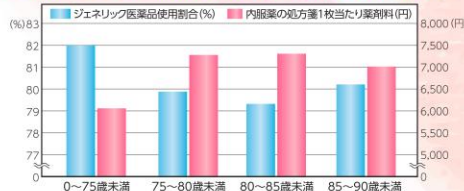
ジェネリック医薬品を選ぶことは社会貢献でもある、ということをご存じでしょうか。

服用しているお薬をジェネリック医薬品に替えると、窓口で支払う「自己負担」を減らせるだけでなく、「税金」や「保険料」でまかなわれているこの国の医療費を節約することにもなるのです。

子どもたちが安心して暮らせる未来を残すこと、それは、私たちに課せられた責任でもあります。

ジェネリック医薬品という選択は、子どもたちの未来を想う「やさしい節約」なのです。

約8割の方がジェネリック医薬品をご利用されていますが、高齢になると処方箋1枚当たりの薬剤料が高くなる一方、ジェネリック医薬品の使用割合が低い傾向があります。



※厚生労働省「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向 令和2年度3月号」のデータより作成

◎まずは、医師・薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品

未来のための
やさしい節約



福岡県

※ 文言やグラフについて、審査時点から事務局より一部修正済み。

3つ折りリーフレット内側（案）

★福岡県では、ジェネリック医薬品の普及を推進しています。..... このリーフレット発行元：福岡県保健医療介護部薬務課 ☎092-643-3285

安いだけではありません!

ジェネリック医薬品は、未来を想う「やさしい節約」なのです。

1 ジェネリック医薬品とは?

ジェネリック医薬品は、先に開発された薬（先発医薬品）の特許が切れた後に発売される医薬品で、先発医薬品と**同じ有効成分・同じ効き目**として、国が承認したものです。



2 効果や品質は大丈夫?

ジェネリック医薬品の有効性、安全性及び品質については、**国が厳格な審査**を行い、基準を満たしたもののみが承認されています。

3 どんなメリットがあるの?

- 価格が先発医薬品と比較して安いので、支払う**お薬代が安くなります**。
- 味やにおい、大きさを改良して**飲みやすく**したり、容器を改良して使いやすくしたりするなど、独自の工夫をした製品もあります。



4 「やさしい節約」とは?

お薬代は患者さんの自己負担だけでなく、税金や保険料でまかなわれているため、ジェネリック医薬品を選ぶことで、この国の**医療費を節約**できます。現代の優れた医療保険制度を次の世代に引き継ぐためには、増え続けているこの国の医療費を節約していくことが大切です。また、節約した医療費は、新薬の開発などに有効活用することもできます。



5 希望する時はどうすればいいの?

- **ジェネリック医薬品を希望される際は、まずは医師・薬剤師にご相談ください**。
- 希望を医師・薬剤師にお伝えする際は、下の「**ジェネリック医薬品希望カード**」を病院や薬局の窓口で提示するなど、ご活用ください。

×キリトリ線

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師や薬剤師の診察時に一緒に提示してください。

氏名

ジェネリック医薬品に関する説明をお願いします。
ジェネリック医薬品を希望します。

医師・薬剤師の診察時

ジェネリック医薬品希望カード

私は、ジェネリック医薬品を希望します。

※ 文言やグラフについて、審査時点から事務局より一部修正済み。